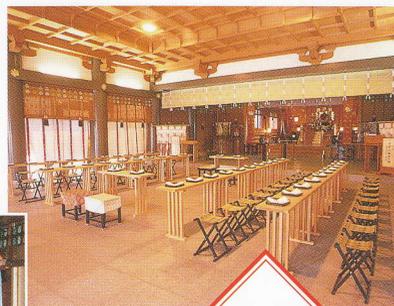




ようこそ
越前東照宮
佐佳枝廻社へ

の 祈 願 の
ご 案 内



初宮詣 七五三詣 成人奉告
 学業成就 合格祈願 就職祈願
 良縁祈願 安産祈願 家内安全
 商売繁盛 交通安全 旅行安全
 身体健康 病気平癒
 厄除祈願 (男 25・42・61歳/女 19・33・37歳)
 銀婚奉告 金婚奉告 心願成就
 年齢祝い



「元氣」御守

交通のご案内
 JR福井駅より徒歩7分
 福井インターより車で15分



さかえのやしろ
佐佳枝廻社

〒910-0005 福井市大手3丁目12番3号
 TEL(0776)27-2754 FAX(0776)24-2359
<http://sakaenoyashiro.com/>

祭 儀



ご 案 内

- 歳旦祭 …… 1月1日
- 御用始祭 …… 1月4日
- 左義長祭 …… 1月中旬
- 初そば打ち式
- 節分祭 …… 2月3日
- 春季例大祭
 前日祭…5月2日
 本日祭…5月3日
 後日祭…5月4日
- 夏越大祓 …… 7月31日
- 印章焼納祭 …10月1日
- 秋季例大祭
 前日祭…10月1日
 本日祭…10月2日
 後日祭…10月3日
- 人形感謝祭 …10月下旬
- 七五三祝祭 …11月
- 針感謝祭 …… 12月上旬
- 大祓式 …… 12月31日
- 除夜祭



歳旦祭



春季例大祭



夏越大祓



人形感謝祭



七五三祝祭

御祭神

福井藩祖
松平 秀康公
 江戸幕府初代将軍
徳川 家康公（東照大権現）
 福井藩第十六代藩主
松平 慶永公（春嶽公）

相殿御祭神

土屋左馬助正明命
（殉死、藩祖の家臣で武將）
 永見右衛門長次命
（殉死、藩祖の家臣で武將）
 吉田修理義寛命
（福井城築造総督の武將）

境内社

榮稻荷神社

藩祖秀康公以来歴代藩主により稲荷大明神と仰がれ、今日に至るまで県内外の商工業者の厚い崇敬がある。社殿は、昭和二十年の福井空襲で焼失したが、昭和三十五年五月、葵敬神婦人會稲荷講の講員三百数十名の奉賛により復興した。尚、現在の社殿は、昭和三十五年五月、京都下鴨鎮座の三井家祖靈社頭名靈社本殿を、所有者加藤尚氏の寄附で移築したものである。当初、境内の北東部に末社祖靈殿として奉斎されてあったのを、再開発事業で佐佳枝廼社本殿始め境内全ての施設の御造替に際し、平成四年現在地に移設、稲荷大明神をお祀りするに至った。



中根雪江翁顕彰碑

中根雪江は、藩主慶永公の下藩政改革に参与し、公が政治総裁職になると公武合体策に従事、慶永公の第一の近臣として幕末維新の日本の政治に貢献した。雪江の事績を称え、慶永公が御揮毫、勝海舟が撰文したこの碑は、明治二十五年の建立である。



中根 雪江翁



御由緒

寛永五年（一六二八）十二月、福井藩第三代藩主松平忠昌公の御在世中、天台宗万福山泉蔵院瑠璃光寺境内に、徳川家康公をお祀りする東照宮を建立。奉安する御正体は、三代将軍家光公が調進された東照権現の御神像十七体のうちの一体と伝えられる。翌寛永六年（一六二九）、米松村に社領三百石の寄附を受ける。東照宮は、当初、神明宮の西隣の地にあつたが、寛文九年（一六六九）の大火の後、東照宮の焼失を危惧した四代藩主光通公は、三の丸清水御門内の帶曲輪に移築された。歴代藩主を始め庶民の崇敬頗る厚く、恒例の祭祀権現祭は、藩中はもとより、広く全国にも聞こえる盛儀であつたという。

明治六年（一八七三）、福井藩祖松平秀康公の御遺徳を追慕し、士民相計り、足羽川右岸幸橋西北に一社を創建、佐佳枝廼社と尊称し奉る。翌明治七年（一八七四）、前記東照宮を合祀奉る。明治十四年（一八八二）、県社に列せられる。明治二十四年（一八九一）、松平慶永公（春嶽公）を合祀奉る。明治二十九年（一八九六）、越前松平家より旧城内お花畑と称する現在地の寄附を受けて遷座する。昭和十五年（一九四〇）の春嶽公五十年祭には勅使のお差遣いを賜る等皇室の御崇敬も厚く、福井の氏神様として社頭賑わいを見せていたが、昭和二十年（一九四五）の大東亜戦争による空襲、昭和二十三年（一九四八）の福井地震と相次ぐ戦災・震災で、御社殿付帯施設一切が焼失した。翌二十四年（一九四九）、松平康昌氏、岡田啓介氏、三井銀子氏等の御助力により、京都市下賀茂にある三井家祖靈社頭名靈社拜殿を譲り受け、移築復元し、昭和三十年（一九五五）には、先の災害を鑑みて、北陸初の鉄筋コンクリート作り、入母屋作りの御本殿が造営された。

戦後、境内地の一部は、福井市の要請により、大陸からの引揚者や戦争の被災者の家屋や店舗百件余に貸与されてきたが、戦後四十年を経過して建物の老朽化が進み、福井市中心部として相応しい景観をと望む声が高まり、平成元年（一九八九）三月、神社を含む再開発という全国でも初の大事業が着工、平成四年（一九九二）四月十七日に竣工し、現在に至っている。

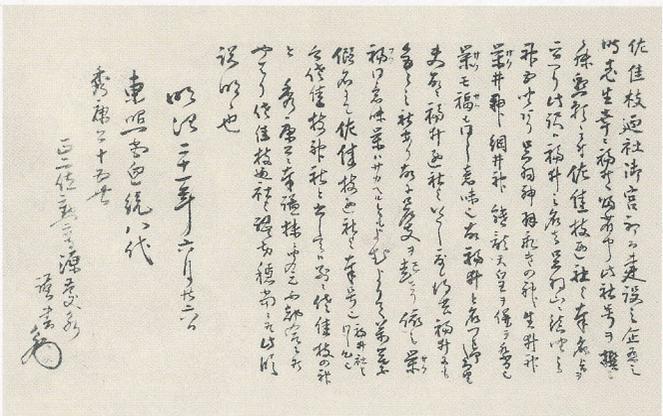


松平 慶永 公

御社名

佐佳枝廼社（さかえのやしろ）という御社名は、御祭神の一柱、松平慶永公（春嶽公）の御命名によります。福井をお守りする社、福井を代表する社という意味と、福井が栄えるようにという願いを込めてお付けになりました。氏子崇敬者からは、親しみを込めて「さかえのみやさん」、「さかえみやさん」と呼ばれております。

（以下、中段 慶永公の記された佐佳枝廼社命名の由来。下段 その書き下し文）



（書き下し文）

佐佳枝廼社御宮初めて建設の企これ有る時、老生幸に福井へ帰省中、この社号を撰び候様懇願につき、佐佳枝廼社と名を奉る旨を云えり。この訳は、福井の名は足羽山に鎮座の五神あり。足羽神、羽ひきの神、生井神、栄井神、網井神、継体天皇を併せて祭る也。栄も福と同じ意味也。故福井と名づけたる由、それ故に福井廼社といたし度く候えども、福井にも色々の社あり。故に差支えを起せり。これより、栄福同じ意味。栄は、サカヘルとも読む。よりて万葉仮名にて佐佳枝廼社と号し奉る也。福井の社と同じ心也。

今佐佳枝神社と書しては、別に佐佳枝の神と秀康公に諡を奉る様に聞え、不都合に候。やはり、佐佳枝廼社と認め候方穩當に候。この段説明候也。

明治二十一年六月二十六日

東照宮血統八代 源慶永 正二位勲二等 謹書（花押）